

新潟市新津「育ちの森」

平成 27 年度事業報告

特定非営利活動法人ヒューマン・エイド 22

事業実施のための体制

- | | | |
|-------------|-------------------------------|------------|
| (1)開館時間 | 月～金曜日 | 9:00～16:00 |
| | 土曜日 | 9:00～12:00 |
| (2)職 員 | 館 長 | 1 名 |
| | 副 館 長 | 1 名 |
| | 受付事務 | 1 名 |
| | 広報担当 | 1 名 |
| | 保育士 | 1 名 |
| | 看護師 | 1 名 |
| | 臨時保育士 | 2 名 |
| | パート職員 | 1 名 |
| | パート用務員 | 1 名 |
| (3)サポートスタッフ | 一時預かり・保育ルームなど、必要に応じてサポーターを配置。 | |

1 交 流 事 業

1. あそびの広場(対象：未就園の子どもとその保護者)

利用者と職員、および利用者相互の交流の広場と位置づけている。保護者と子どもが楽しく安全に遊べる場になるよう、採光、換気、衛生に配慮し子どもの年齢に合った遊具を備え付けている。職員が毎日午前午後、手遊びやふれあい遊びを一緒に楽しむ「スポットタイム」を設けている。また、季節行事にあわせた内容のイベントを企画し、地域の祭りや、子どもの日、七夕等日本古来の風習に親しむ機会を設けている。ハロウィン、クリスマス等子どもも大人も楽しめるイベントも実施している。

一人で来館している利用者に声をかけ、孤立させないように配慮している。様々な世代の方との交流をはかれるようロビーにお茶を用意し、子どもを見ながらもくつろげる雰囲気作りをしている。安全面を考慮し、週 3 回午前・2 回午後 1 回、ベビー専用(1 歳 7 カ月まで)の日を設定している。

- | | |
|---------|-------------------------------------|
| (1)開館日時 | ・日、祝日、年末年始、土曜午後、館内メンテナンスを除く毎日 |
| | 午前の部 9:00～12:00 |
| | 午後の部 13:00～16:00 |
| (2)場 所 | ・プレイルーム |
| | ・サークルルーム 1 (部屋の貸出の無い場合 木製レール) |
| | ・サークルルーム 2 (部屋の貸出の無い場合 ドールハウス、ブロック) |

・図書コーナー

(3)利用者数 ・利用数……延べ 18375 人

(4)チケット売上 ・チケット売り上げ数……21 枚

【表A】 開放区分

	月	火	水	木	金	土
午前	ベビー	フリー	ベビー	フリー	フリー	フリー
午後	フリー 予約相談日	フリー	フリー	ベビー	フリー	休み

季節のイベント開催

4 月 21. 22. 23 日	こどもの日祭り 入場者延べ 199 人	12 月 15. 16. 17 日	森のクリスマス 入場者延べ 335 人
6 月 30 日 7 月 1. 2 日	七夕祭り 入場者延べ 307 人	1 月 26. 27. 28 日	節分スポットタイム 入場者延べ 183 人
9 月 17 日	交通安全教室 入場者延べ 73 人	2 月 23. 24. 25 日	雛祭りスポットタイム 入場者延べ 288 人
10 月 20. 21. 22 日	育ちの森ハロウィン 入場者延べ 252 人	3 月 26. 28. 29 日	森の卒業式 入場者延べ 235 人
11 月 20 日	虫歯予防イベント 入場者 73 人	その他 6 月 17 日、1 月 18 日避難訓練 3 月 31 日 防犯訓練	

2. サロン

職員がコーディネーターとなり気軽な雰囲気の中で、交流や情報交換などを行った。ゲストを招いてのサロンや、テーマを決めてのサロンなど利用者のニーズを聴きながら実施した。

・パパサロン

父親の育児参加を促すため、毎月 1～2 回実施、職員 1 人がコーディネーターとなり、子どもとのふれあい遊びや木育玩具で遊びながらパパ同士の交流を促し、情報交換を行った。

・ベビータイム

ベビー向けに、タッチケアの体験や初めて育ちの森に来る方を対象として実施。孤立しがちな乳児の母親にきっかけづくりとして来てもらうため実施。紫外線対策や睡眠等をテーマとしたサロンも行った。

・森のサロン

食中毒、防災サロン、トイレトレーニングなど希望のあったテーマで実施。

2. 相 談 事 業

開館時間内であれば随時対応し、電話、Fax、Eメールによる相談も対応。

利用者からの相談に常時応じられる体制を整えた。

職員は相談の初期対応を行い、専門的なかかわりが必要な場合は職員間で協議し、時間をかけずに必要な支援が受けられるよう各機関につなげた。

相談件数 電話・メール・面談を含め……1945 件

3. 保 育 事 業

一時預かりは病気や通院、リフレッシュの理由により、保育が必要な場合に一時預かりを行った。

また、講座に保育ルームを設け受講者のお子さんの保育を実施。時間や年齢等規定に合わない条件の場合は、他の団体や保育園を紹介するなど外部との連携を図り柔軟に対応した。保育ルームには、保育者の他に職員が2名入り保育・総括した。

1. 一時預かり

保育件数……149 件

平均利用時間……2.78 時間

2. 保育ルーム

(1) 保育数……延べ 329 人

(2) 開 設……51 回

4. 各種講座

育児ストレスや不安の軽減をはかるために、子どもの成長、発育などの知識を得たいという利用者のニーズに応じた計画をたてた。セミナー内で交流や意見交換ができるよう職員がコーディネートした。毎回のアンケート結果を次年度のセミナー企画の参考にするなどセミナーの充実を図った。

(1) 子育てセミナー（育児に必要な情報の提供や子どもとのかかわり方を学習する講座及び、親同士の交流を目的とする講座）

内 容 きょうだいの子育て、メモリーブック作り、サークルセミナー、救急法、フェルトアート、メモリアルブック作り、1歳児セミナー、2歳児セミナー、育休セミナー、保育園入園申込説明会、再就職セミナー、再就職セミナー

開 催……年間 33 回

参加者数……延べ 274 名

(2)親子セミナー（交流、不安解消、情報交換を主にするセミナー）

内 容 1. ベビママミニセミナー・ベビーマッサージ

開 催……年間10回

参加者数……延べ126名

内 容 2. ベビママセミナー3回連続セミナー

1回目 赤ちゃんとのふれあい遊び

2回目 助産師さんと話そう タッチケア

3回目 これからの子育てのことを話そう、情報交換・交流会

開 催……3回連続×5クール

参加者数……延べ212人

*ノーバディズパーフェクトセミナー 参加者数……延べ151人

*親子の絆づくりプログラム赤ちゃんがきた 参加者数……延べ48人

セミナー参加総数 811人

5. 情報発信

子育て中の保護者の声や様子から情報提供が重要と考え、ホームページ、支援センター便りで最新情報を提供した。地域のコミュニティFM局の番組で、子育てに関する情報をスタッフが企画し、パーソナリティを務め、子育ての現状を市民に情報提供した。また、子育て情報を掲載した季刊情報誌を年4回発行し、新潟市内の保育園や公共施設などに4000部無料配布した。

- ・情報誌「Cocokara（ここから）」を年4回（4・7・10・1月）編集発行。（B5版、28ページ4000部）新潟市内保育園・公民館・公共施設・公共機関等を中心に配布
- ・HPを随時アップデート。……年間アクセス数18,885件
- ・図書コーナーの大人用雑誌、書籍の貸し出し。……年間322冊

6. 子育てサークル支援

1. 子育てサークル支援

当館の利用が困難な場合や、地域で仲間づくりがしたい方にとって子育てサークルが果たす役割は重要であると考え、子育てサークルの支援を実施。

- ・サークルリーダーを対象とした研修会を社会福祉協議会と協力して開催。（年3回）……参加人数22人
- ・サークル同士の交流を目的にサークル限定日を2回実施。

参加サークル……14サークル

2. サークル出張・相談

希望のあったサークルにスタッフが出向き、手遊びやふれあい遊びなどを提供。

サークルの活動を積極的にサポートするため、運営や人間関係、活動内容などの相談を受付対応。多面的なサービスを展開した。

実施サークル……12サークル

※子育てサークルからの要望があり、遊びの講師や保育サポーターの情報提供を行った。

7. 地域との連携

1. 遊びの広場サポーター・保育サポーター研修を実施

遊びの広場、保育に関わるサポーターに対して研修等を実施。サポーター同士の交流、スキル向上を図るため実施。

保育サポーター研修・・・4回

遊びの広場研修・・・・・・1回

2. ボランティア育成

地域の人材を子育て支援の現場に活動できる場を設けた。

・手作りおもちゃやエプロンシアターの製作。 月 2～3 回

・季刊誌「Cocokara（ここから）」の4コマまんが。

学生ボランティアの受け入れと卒業論文の協力。

3. 出前授業

依頼のあった小学校にスタッフが出向き授業を行った「命の大切さについて」

・新潟市立新津第二小学校 2 年生

8. 次世代育成

1. 中学生の総合学習受け入れ

・新潟市立金津中学校総合学習、1 年生～3 年生 16 名受け入れ

※子どもとのふれあい遊び。

2. 大学、専門学校実習及び研修

・育ちの森見学後、子育て支援に関する講義を実施

見学実習 40 人

(新潟青陵大学 5 人、駒沢大学 1 人、看護医療専門学校 32 名、新潟県立大学 2 名)

・新潟大学医学部保健学科看護専攻臨床実習 3 年生 80 名受け入れ

その他

・視 察

県 外……2 件

新潟市内……10 件

・福島県子どもの心のケア事業

福ママサロン

母子避難者支援者研修会

平成 27 年度新潟市新津育ちの森事業報告書

- ・平成 27 年度事業報告書
- ・資料 各種データ
- ・アンケート集計結果
- ・アンケート考察

特定非営利活動法人ヒューマン・エイド二十二
代表 椎谷 照美

自主事業報告書

事業
名

パパサロン「木育玩具・新聞紙であそぼう・タッチケア・子育てに欲しい情報」

(1) 実施状況（実施日時・利用人数等）

実施日時 平成27年4月11,18日、5月9,16日、6月13,20日、7月11,18日、8月8日
9月19日10月10日、11月14日、1月16日、2月20日、3月19日

実施回数 15回

総参加者数 54組の親子 大人54人 子ども62人

- ・木育玩具であそぼう
- ・赤ちゃんタッチケアでふれあい遊び
- ・子育てに欲しい情報の交換・交流（あそび場・イヤイヤの対応・お家遊び・お風呂の入れ方）
- ・新聞紙で遊ぼう（紙ヒコーキ・新聞紙の山・剣）

赤ちゃん、子どもの関わり方や遊び方をパパ同士で体験する。

赤ちゃんとのタッチケアでふれ合い、家でも出来るふれあい遊びを体験する。

子どもと向き合う時間。子どもの好きなあそびを知る機会。

自分に出来る家事協力、育児協力について情報交換する。

(2) 目的の達成状況

パパサロンの開催が、子育て支援センターに来館するきっかけになったという声もあり、子どもが遊びに来ている施設に興味を持ち、子育てに関心を持つ機会になっていると感じている。父親一人で子どもを連れての来館人数が増えている。

赤ちゃんとお父さんで参加し、抱っこの仕方、あやし方などを情報交換出来た。

タッチケアを体験し、赤ちゃんの触り方、関わり方を知ってもらい、赤ちゃんの頃から寝かしつけの方法を情報交換するなど、具体的な子育ての方法を知り、関わろうとしている様子が見られた。

先輩パパに自主的に質問している場面も多くみられ、仕事をしながらも子育てに積極的に関わりたい気持ちが伝わってきた。

(3) 利用者の反応・満足度と今後の対応

「どんなことをするのか」「子どもと二人だけでだいじょうかな？」等、参加者は初めのうちは緊張している様子もあったが、子どもが遊んでいる様子を見たり、一緒に遊んだりしているうちに打ち解け、「何歳ですか？」「何か月ですか？」とお互いに情報交換しあう姿があり、木の玩具で遊んだりしながら、交流している姿がみられた。遊んでいるうちに子どもが眠くなり寝かしつけをしているパパに「寝かしつけ出来るんですか？」「いつも泣かれて寝かしつけをしたことがないです」等の会話をしながらお互いの子育ての情報交換をしていた。タッチケアをしながら、「自分が触ってこんなに気持ち良さそうな顔をしてくれると嬉しい」「笑ってくれると嬉しい、ここがツボだな～」と言いながら楽しそうに参加している様子が見られた。「ここに来ている時間は、ママが自分の時間出来るから、自分がお休みの日は来ようと思います」という声も聞かれ、子育てしているママに対しての気遣いも感じられた。

父親が参加しやすい内容をリサーチし、今後もパパサロンを継続していきたい。

今後も親子で行けるあそび場、パパが連れて行きやすい公園等の情報提供や、困ったときの対応等幅広く対応できるように、情報収集していく。

(4) 収支決算 この事業に係る経費はなし

【添付書類】

- ・写真 **新聞紙を使った遊び「お家でできる遊び」**



自主事業報告書

事業名

ベビータイム（タッチケア・育ちの森へようこそ・子育て情報）

(1) 実施状況（実施日時・利用人数等）

実施日時	平成 27 年 4 月 9 日、	午後 2 時から 3 時	「おもちゃづくり」 11 組
	平成 27 年 5 月 25 日	午前 10 時 20 分から 11 時	「育休中にやっておくこと」 11 組
	平成 27 年 5 月 28 日	午後 2 時から 3 時	「子どもの肌のケアと日焼け予防」 27 組
	平成 27 年 6 月 18 日	〃	「タッチケア」 14 組
	平成 27 年 7 月 22 日	〃	「タッチケア」 10 組
	平成 27 年 8 月 5 日	〃	「育ちの森へようこそサロン」 6 組
	平成 27 年 8 月 20 日	〃	「タッチケアでふれあい遊び」 5 組
	平成 27 年 9 月 3 日	〃	「育ちの森へようこそサロン」 4 組
	平成 27 年 9 月 17 日	〃	「睡眠について」 20 組
	平成 27 年 10 月 8 日	〃	「育ちの森へようこそサロン」 7 組
	平成 27 年 11 月 12 日	〃	「育ちの森へようこそサロン」 8 組
	平成 27 年 11 月 26 日	〃	「冬の体調管理」 21 組
	平成 27 年 12 月 21 日	〃	「育ちの森へようこそサロン」 3 組
	平成 28 年 1 月 14 日	〃	「育ちの森へようこそサロン」 5 組
	平成 28 年 3 月 17 日	〃	「育ちの森へようこそサロン」 17 組

実施回数 15 回

総参加者数 169 組の親子 大人 170 人 子ども 172 人

・初めて育ちの森に来館するきっかけ作りと、赤ちゃんとふれあいながらママ同士の交流を目的に開催。部屋をベビータイム用に用意してあることで、気楽に参加でき情報交換・相談・専門的な情報が出来る場として設定。

(2) 目的の達成状況

・初めて子育てをするママ、第 2 子、第 3 子のベビーのママ同士で、ふれあい遊びやタッチケアをしながら、情報交換を行った。回を重ねる毎に参加者が増えたことから、安心して過ごせる場の必要性を感じた。

・ベビータイムに参加後、つながりができ参加者同士が会話を楽しんでいたことから、初めて利用するきっかけ作りになったようだ。ベビータイムから、遊びの広場の利用をする方も増え、小さなコミュニティから、少しずつ慣れ親子で楽しむ様子がみられた。

(3) 利用者の反応・満足度と今後の対応

参加者からは、「初めからあそびの広場に出る勇気がなかったが、部屋の用意がしてあることを知り、安心して参加できた」「同じような月齢の子ども同士だから、話もしやすくて良かった」という

意見も聞くことが出来た。「一人で子育てしていると、おっぱいの量大丈夫かな？どうしたらいいのかな？」という悩みも、「テーマに沿ったサロンもあるので、情報を得られて参考になった」「自分が聞きにくいことを参加している他のママが聞いてくれて助かった」等、参加者が何名かいることで、話題も広がりためになったという意見も多かった。

月齢の小さな赤ちゃんを持つ母親が気軽に参加できるよう、今後も気になっていること、相談内容の多いテーマを取り上げ開催していきたい。

(4) 収支決算 この事業に係る経費は発生しない

【添付書類】

・写真



自主事業報告書

事業名 にいつ夏祭り 三之町屋台によるお囃子「松坂流し」**(1) 実施状況（実施日時・利用人数等）**

実施日時 平成 27 年 8 月 19 日 午前 11 時～11 時 20 分

実施回数 1 回

参加者数 60 人 他三之町屋台

目的

- ・新津夏祭りのお囃子新津松坂を楽しむ。
- ・屋台のお囃子をライブで聴き、祭りの雰囲気味わう。

(2) 目的の達成状況

地域祭りのお囃子を、育ちの森で披露してくれたことで、子どもも、赤ちゃんも祭りに足を運ぶことが出来ない方にも、新津の伝統行事を体験していただくことができた。

笛や太鼓の音を聴き子どもたちも喜んで体を揺らしていた。普段味わうことの出来ない祭りの雰囲気を楽しんでいる様子が伝わったことから、目標は達成できたと感じている。

(3) 利用者の反応・満足度と今後の対応

「祭囃子をめがけて今日来ました」「孫に聴かせたくて」等の声もあり、地域の協力を得られて実施できる事業を今後も継続して実施していきたい。伝統的な祭りの雰囲気を十分に味わうことができた。

(4) 収支決算 この事業に係る経費は発生しない



【添付書類】

- ・写真 プレイルームでお囃子のリズムに合わせて楽しむ子ども